

## 1 平成29年4月1日から同年9月30日までの財政の状況

### (1) 財政の動向

平成29年度の流山市一般会計歳入歳出予算総額は、529億1,000万円であり、平成28年度の527億7,500万円に比べ、1億3,500万円、約0.3%の増額となっている。

主な増額の要因としては、教育費、土木費において、事業費の減額があったものの、子育て世代の人口増加に伴い、子育て施策に関連する経費が増加することから民生費で前年度比15億3,701万6千円の増額となったことによるものである。

また、6月に行われた流山市議会第2回定例会において、おおたかの森小学校の児童数増加に対応するため、予算審査特別委員会における指摘要望事項に沿い、平成33年4月に開校予定の新設小学校の基本計画の業務委託料1,080万円を財政調整積立基金から繰入れたことから、歳入歳出それぞれ1,080万円を追加したほか、前年度からの繰越額を含めると、9月末の予算現額は、541億6,108万4千円となっている。

なお、上期における予算現額を昨年9月末現在のものと比較すると、歳入では、つくばエクスプレス沿線整備事業の推進により人口が増加し、納税義務者が増加傾向にあることや新市街地地区を中心に新築家屋が増加していることから市税が10億4,576万4千円の増加となっている。一方で、自主財源である市税収入の増加により地方交付税が6億3,500万円減額したほか、市債は、おおたかの森小・中学校建設事業債の減額などに伴い、昨年9月末現在と比べて14億5,020万円の減額となっている。

また、歳出においては、子育て環境の充実を図るため、小規模保育事業所整備補助事業や保育園運営委託事業などの保育関連経費や、児童手当支給事業に前年度より増額の予算編成を行っていることから、予算現額では、民生費が14億9,881万9千円の増額となっている。一方で、教育費がおおたかの森小・中学校建設事業の終了などにより15億730万円減額したことや土木費が9億1,705万1千円減額したことなどに伴い、昨年9月末現在と比べて4億2,120万3千円の減額となっている。

一般会計と特別会計の9月末現在の執行状況は(3)収入及び支出の概況のとおりである。